

事務事業名	甲西子ども祭り支援事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12388				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	生涯学習課	課長名	小野 義邦				
			所属担当	青少年担当	担当者名	長谷部寿仁				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 04	目 03	細目 030	細々目 10
政策	24	青少年の健全育成	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	38	健全育成支援体制の強化充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	南アルプス市青少年対策事業補助金交付要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 祭りをとおして遊びの中で、異年齢の仲間や地域の大人・子どもの交流を深め、地域の金額歴史文化や芸能を伝承する事業。地域のボランティアが運営する「各種コーナー」を設置し、参加者や世代が違う仲間とのふれあいや交流を深めることを目的としている。 また、工作・竹細工コーナーでは、高齢者及びボランティアの指導により、地域の子も達が、趣向を凝らした様々な工作体験を楽しみながら学ぶことができる企画を展開している。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				団体補助金	180		計	180		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	子どもまつりの開催(クラブ・竹細工・キーホルダー・折り紙等の工作コーナー、似顔絵コーナー等)	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
25年度活動実績	子どもまつりの開催(クラブ・竹細工・キーホルダー・折り紙等の工作コーナー、似顔絵コーナー等)		ア	来場者数	人
26年度活動予定	子どもまつりの開催(クラブ・竹細工・キーホルダー・折り紙等の工作コーナー、似顔絵コーナー等)		イ	ボランティア等実行者数	人
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	児童・生徒・市民	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			ア	児童・生徒	人
			イ	市民	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	祭りを通して遊びの中で、異年齢の仲間や地域の大人・子どもの交流を深め、地域の歴史文化や芸能を伝承する。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			ア	来場者数	人
			イ	ボランティア等実行者数	人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	青少年を取り巻く社会環境の実態を把握した上で、地域全体で取り巻くための方策を検討し、適切に対策を講じる。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			ア	家庭や地域ぐるみの青少年教育について	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	683	183	180	180	180	180	
		事業費計(A)	千円	683	183	180	180	180	180	0
人件費	内訳	正規職員従事人数	人	6	3	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	160	160					
		人件費計(B)	千円	728	728	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	1,411	911	180	180	180	180	0
活動指標	人		1,000.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	
対象指標	人		7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	
成果指標	人		1,000.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	
上位成果指標	%		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	旧甲西町時代にお祭りを通して世代間の交流から青少年の健全育成を目的として始まった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	対象者(子ども)の減少
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特に無し

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H22年度は予算の大幅な減額に伴い、ボランティア中学生の人数や各コーナーの企画の見直しなどを行い、予算減額前より効果が落ちないように工夫して実施した。更に見直しを行い、イベント企画から住民の手で行い、飲食の伴わない企画展とする。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	青少年担当は地区民会議へイベント補助として支出、地区民会議では実行委員会を設置してイベントを開催した。

事務事業名	甲西子ども祭り支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 甲西地区の住民(子ども)に親しまれており、この事業の目的である「青少年健全育成」に大きく寄与している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 平成25年度は地区民会議主体で事業を開催した。青少年担当は補助金を交付する形となった。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 他地区と同様にイベント補助として見直しを行った。実行委員会を立ち上げ地区民会議主体で子ども祭りを開催した。地域の大人と子どもたちの交流を図る面で継続していく。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 限られた補助金中でどんなイベントを実施していくかが問題。地区民会議での企画・運営の仕方が課題となる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 地域を越えて広く住民に親しまれているものが実現できれば可能であるが、子どもたちの集客、地域での子どもの育成を考えると現状で継続が良いのではないかと。
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 少子高齢化の中、核家族化が多い社会で世代間交流は必ず必要である。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 一度休止・廃止してしまうと地域での大人と子どもを結びつける行事がなくなり、交流も途絶えてしまう。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 H24年度の青少年担当と地区民会議共同の開催から、H25年度は地区民会議主催の運営とした。H24年度の実績に応じた金額を補助金としたので、H25年度は事業費の削減を行った。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 地区民会議主体(ボランティア)で行っていくことにしたため、職員の人件費は掛からなくなった。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 現在は甲西地区の全小学校にチラシを配布しており、また、広報でも情報を掲載しているため公平である。(ただし、今後、類似事業と統合していくのであれば)更に広く市内全域から集客していく必要がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地区民会議主体でイベントを開催してもらった。地域の大人と子どもとの交流が図られる点で必要なことだと思う。限られた予算での開催なので現状維持となる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 地区民会議主体での取り組みに変えていただいた。他地区と同じ足並みとなった。後は地区民会議実行委員会の企画運営の仕方が問題となる。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 地区民会議主体での取り組みに変えたため、青少年担当からは補助金交付する形となった。イベントについては地区民会議の考え方によって内容の検討を図っていただくことになる。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					